



DVI Extender 1 Fiber Optic

DVI 延長機

型番 : EXT-DVI-CP-FM10

取扱説明書



■安全上の注意

この度は Gefen 製品をお買いあげいただき、ありがとうございます。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には取り扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が記載されています。長くご愛用いただくため、製品のパッケージと取扱説明書を保存してください。

- 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告 この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・必ず付属の電源アダプター、電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。また、付属の電源アダプター、電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。
- ・AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意 この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- ・万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- ・以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所 / 極度の低温または高温の場所 / 湿気の多い場所 / ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- ・配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ・ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

修理品発送時のお願い

本製品には、送信機と受信機に同一のシリアルナンバーが割り振られています。万が一、不具合が発生して修理の依頼などを行う場合は、本体裏面に記載されているシリアルナンバーをご確認いただき、同一のシリアルナンバーが割り振られた送信機と受信機の両方を発送してください。

シリアルナンバーの表示例



■はじめに

この度は Gefen、EXT-DVI-CP-FM10 をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みいただき、使用方法をご理解の上、正しくご使用ください。

■主な特長

EXT-DVI-CP-FM10 は HDCP に対応し、OM2 マルチモード (50/125 μ m) の光ケーブル (SC コネクター、1 芯) で DVI ソースを最大 1000 m 延長可能な DVI 延長機です。最大 1920 \times 1200 (WUXGA) の解像度に対応しています。銅線を使用した延長機に比べ、光信号伝送は直流的な絶縁を実現し、電磁干渉の受けにくい信号伝送が可能です。

さらに送信機と受信機は極めてコンパクトなケーブル一体型のデザインを採用。ソース機器や表示機器の端子パネルへの負荷を軽減し、シンプルですっきりとした配線を実現します。

- ・ OM2 マルチモード (50/125 μ m) の光ケーブル (SC コネクター、1 芯) で DVI ソースを最大 1000 m まで延長可能
- ・ 最大 1920 \times 1200 (WUXGA) の解像度に対応
- ・ 電磁誘導ノイズの影響を受けない光ファイバー伝送
- ・ コンパクトなケーブル一体型のデザインを採用し、ソース機器や表示機器の端子パネルへの負荷を軽減
- ・ 双方向 DDC に準拠
- ・ HDCP パススルー

■梱包内容の確認

- ・ 本体 (送信機、受信機)
- ・ DC 5V 電源アダプター \times 1
- ・ クイックスタートガイド

万が一足りないものがありましたら、購入された販売店までご連絡ください。

■使用上のご注意

※ソース機器の DVI 端子から電源供給が可能な場合は送信機に付属の電源アダプターを使用する必要はありません。

※ OM1 マルチモード (62.5/125 μ m) の光ケーブルを使用した場合は、最大 300m まで延長可能です。

■各部の名称と機能



① SC 光ファイバー端子 (送信機)

SC 端子を圧着した光ファイバーケーブルで受信機と接続します。

② パワーインジケーター (送信機)

DVI ソース機器から電力が供給されると緑色に点灯します。緑色に点滅を繰り返している場合、DVI ソース機器から電力が供給されていません。詳しくは次ページを参照してください。

③ DVI 端子 (送信機)

コンピューターなどのソース機器を接続します。

④ SC 光ファイバー端子 (受信機)

SC 端子を圧着した光ファイバーケーブルで送信機と接続します。

⑤ 電源端子 (受信機)

付属の電源アダプターを接続します。送信機と受信機に電源端子を搭載していますが、ソース機器の DVI 端子経由で電源が供給可能な場合、送信機に電源アダプターを接続する必要はありません。

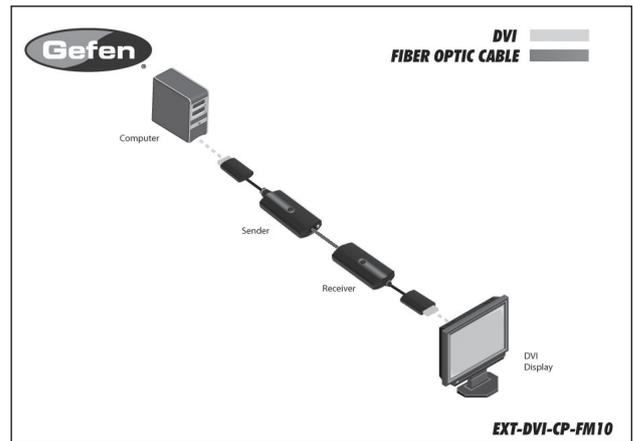
⑥ DVI 端子 (受信機)

コンピューターなどの表示機器を接続します。

■機器の設置

- ① DVI ケーブルを使用してコンピューターや DVI ソース機器と送信機を接続します。
- ② DVI ケーブルを使用して表示機器と受信機を接続します。
- ③ SC 端子を搭載した 1 芯の光ケーブルを使用して送信機と受信機を接続します。
- ④ 付属の電源アダプターを受信機に接続します。
- ⑤ DVI ソース機と表示機器の電源を入れます。

※ DVI 端子から正常に電源が供給されている場合、送信機に電源アダプターを接続する必要はありませんが、受信機側は必ず電源アダプターを接続してください。



■機器の操作

● Power インジケータ

送信機と受信機に搭載した Power インジケータで電源供給の状態を確認できます。

- ・ 正常に電源供給が行われている場合、インジケータが両方とも緑色に点灯します。
- ・ 送信機に電源が正常に供給されていない場合、送信機のインジケータが点滅します。この場合はオプションの電源アダプター (EXT-PS52AIP-1.3) を使用して電源を供給してください。



■仕様

- 最大ピクセルクロック 165 MHz
- 入力ビデオ信号 (送信機) DVI-D(19 ピン、オス) × 1
- 出力ビデオ端子 (受信機) DVI-D(19 ピン、オス) × 1
- 光ケーブル端子 (送信機 / 受信機) .. SC タイプファイバー (50 /125 μm) × 1
- 電源 (送信機 / 受信機) DC5V
- 消費電力 (受信機) 最大 1.5W
- 寸法・質量 W39 × H16mm × D292mm、45g

- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。